

MIE UNIVERSITY X

三重大学広報誌

# 三重大 X

[えっくす]

CONTENTS

ホットNews

## 情報発信

地域へ 世界へ

特集

産学官民連携

05

速報

文部科学省支援プログラム

09

特集

学ぶ・育むプログラム「X」

11

気になるNews

13

本の紹介／表彰

15

お知らせ

16

歴史街道シリーズ

18

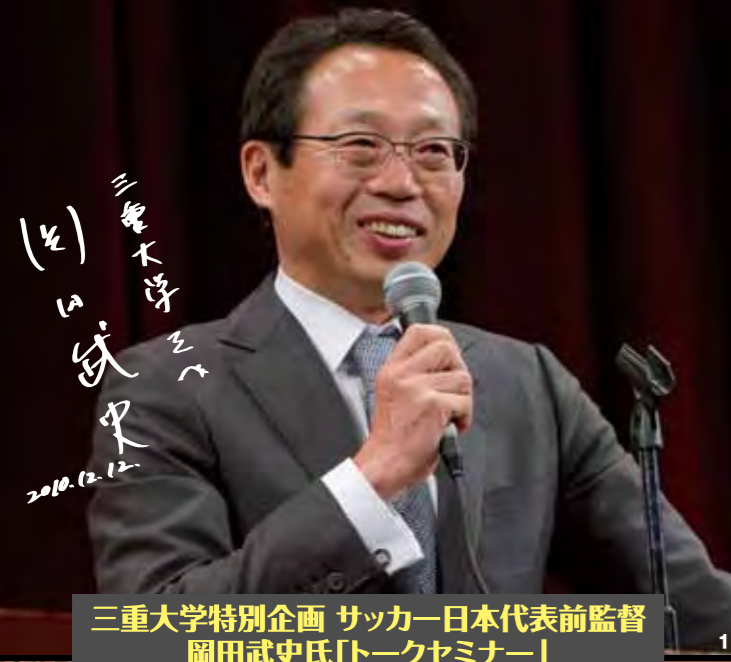
vol. 24 2010 WINTER

「信念・決断・挑戦」～人が輝くとき～

## 情報発信 2010 三重大学

ホットニュース／情報発信2010三重大学

ホットニュース／情報発信2010三重大学



三重大史  
2010.12.12

三重大学特別企画 サッカー日本代表前監督 岡田武史氏「トークセミナー」



聴きいる約1,600名の観衆



賞 シップ・オブ・ザ・イヤー 2009 “勢水丸” 漁船・特殊船舶部門受賞



表彰状を受理される岡田清実機関長



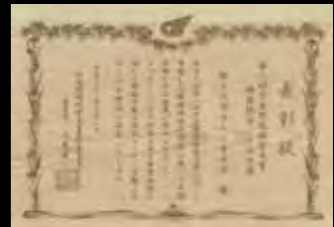
平成22年度大学改革シンポジウム 「地域の活性化と男女共同参画の推進」



賞 環境・自然を考える最先端研究 第4回三重大学先端研究シンポジウム



賞 エコ大学ランキング総合1位



賞 環境経営パール大賞



賞 「中日ドラゴンズ 浅尾拓也投手と小山桂司選手」 トークショー&小児病棟慰問



賞 生物多様性条約第10回締約国会議(COP10) パートナーシップ事業「COP10in三重」開催



**地域貢献&生涯学習 12/12**  
教育学部の杉田正明准教授(写真2左)がW杯日本代表チームの高地トレーニング専門家として帯同した縁で開催が実現。岡田氏は、「目標を持ち、諦めずに挑戦!」など熱く語りました。  
【写真】1.2.3

**男女参画 12/11**  
基調講演(板東久美子文部科学省生涯学習政策局長)(写真6)、パネルディスカッション、約30ブース展示など、総勢525名が参加しました。  
【写真】6.7

**研究 12/9**  
㈱小松製作所(コマツ)の野路國夫社長による特別講演や「カーボンフリー大学を目指して」と「自然と共に生きる医療」をテーマに、本学教員から最新の研究活動と社会貢献活動の紹介があり、約200名の参加者から高い評価をいただきました。  
【写真】8

**賞 教育 6/8**  
社団法人 日本船舶海洋工学会が授賞するシップ・オブ・ザ・イヤーは、毎年、日本で建造された話題の船舶の中から、技術的・芸術的・社会的に優れた船を選考して与えられています。  
【写真】4.5

**環境 11/4**  
全国青年環境連盟(エコリーグ)主催による大学の温暖化対策を後押しするための表彰制度エコ大学ランキングにおいて、国公立大学部門および全大学総合1位に選出され、日本一のエコ大学として認められました。  
【写真】9

**環境 3/19**  
環境経営部門の最優秀賞 環境経営パール大賞受賞。6月1日に表彰式が行われました。  
【写真】10

**医療支援 12/9**  
附属病院の入院患者およびその家族、病院スタッフからマウンドに上がる時の闘志についてなど、様々な質問がありました。  
【写真】11.12.13

**環境 10/11~29**  
生物多様性交流フェア会場(名古屋市)に、三重大学ブースを設置し本学の環境研究や三重ブランド環境教育、環境ISO活動等、カーボンフリー大学の取り組みなどの活動を紹介します。  
【写真】14.15.16.17

# 2010 三重大学



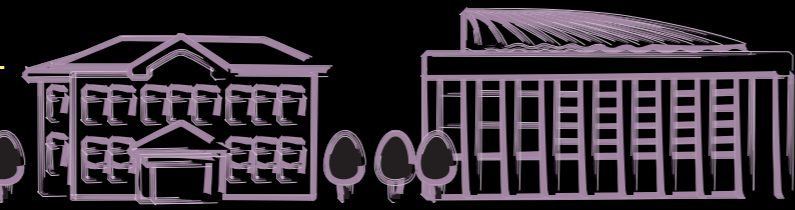
2010.6.1 三重大学医学部附属病院救命救急センター



2010.7.1 カーボンフリー大学推進室 設置



2010.8.6 「津市—三重大学連携・企業成長支援室」 ~三重大学キャンパス・インキュベータ内に設置~



## 防災人 うま 2010.4.17 開塾 美し国おこし・三重さきもり塾

三重県地域で発生する自然災害に備え、地域の防災・減災活動を率先して担うことのできる人材の養成を第一の目的としてスタートしました。

入門コース 修了 特別課程 修了

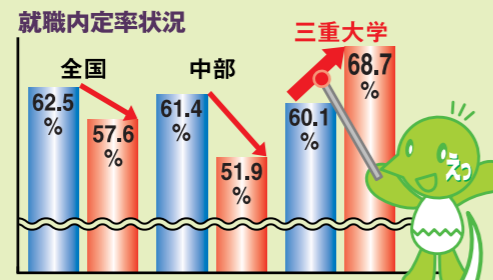
「美し国三重のさきもり」として認定

三重県で貢献

振興調整費

## キャリア教育と就職支援

学生の就職内定状況は、1996年の就職氷河期を下回るなか、三重大学では21年度内定率は95.8% (2010.3.末) でした。



全力で就職支援を行っています。

22年度文部科学省の「大学生の就業力育成支援事業」に採択されました。

卒業後、スムーズな社会移行ができるよう取り組んでいきます。 詳しくは、P10参照

## 研究 心筋梗塞をおこす遺伝子を発見

日本人の心筋梗塞の発症リスクを高めると予想される特徴的な遺伝子の配列、BTN2A1、ILF3を世界で初めて発見しました。

DNAの4つの塩基、A(アデニン)、G(グアニン)、C(シトシン)、T(チミン)が約30億並んでいるヒトゲノムについて、配列(並び方)の個人差に着目。



BTN2A1では、CがTに置き換わっていると心筋梗塞の発症率が1.5倍に高まっています



三重大学 生命科学科学研究支援センター ヒト機能ゲノクス部門 山田芳司 教授

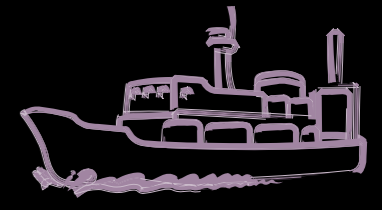
## 大学ブランド商品



- 5.6 CBCラジオ「朝からPON」大学近く23号線の舗道整備
- 5.24 三重テレビ「とってまわろキ」〈医〉登 勉 医学系研究科長
- 5.31 三重テレビ「とってまわろキ」鈴木宏治 理事
- 6.11 三重テレビ「四者対談」御手洗康 放送大学学園理事長、寺脇 研 京都造形大学教授、野呂昭彦 三重県知事、内田淳正 学長
- 7.10 NHKスペシャル「サッカー日本代表チームはこうして勝った」〈教〉杉田正明 准教授
- 7.12 FM三重「EVENING COASTER」〈教〉杉田正明 准教授
- 7.26 NHK総合「視点・論点」W杯・南アからブラジル 〈教〉杉田正明 准教授
- 8.4 FM三重「Campus CUBE」〈教〉杉田正明 准教授
- 8.8 テレビ朝日「サンデーフロントライン」日本海クロマクロを守れ 〈生〉勝川俊雄 准教授
- 8.26 NHK総合「新感覚ゲーム クエスト」歌唱力上達「YUBAメソッド」を紹介 〈教〉弓場 徹 教授
- 8.30 NHK総合「ドキュメント20min 女たちの祈り☆」
- 8.30 日本テレビ「ズームインSUPER」〈教〉杉田正明 准教授
- 9.16 NHK総合「クローズアップ現代」異常気象はなぜ起きた～「スーパー猛暑」の謎に迫る～ 〈生〉立花義裕 教授
- 9.21 NHK総合「視点・論点」「妊娠中の化学物質と子どもの発達」〈医〉成田正明 教授
- 9.25 テレビ関西「特番 オサカナと食卓の科学」〈生〉勝川俊雄 准教授
- 10.13 NHK総合「ほっとイブニングみえ」環境ISO学生委員会
- 10.14 NHK BS2「ドゥ!エアロビク」教職員、学生参加
- 10.16 テレビ朝日「S THE STORIES A ALTITUDE 勝利の秘密」日本代表に勝利をもたらした秘密の訓練!高地トレーニングってどんな事をするの? 〈教〉杉田正明 准教授
- 11.6 テレビ愛知「遊びに行こう!!」雨上がり決死隊の堂原 徹 レポーターインタビュー 内田淳正 学長、(生)久松 真 教授
- 11.7 TBS「夢の扉～NEXT DOOR～」
- 12.15 NHK「ナビゲーション」“寒ブリ”がいなくなる? 〈生〉勝川俊雄 准教授
- 12.25 TBSラジオ「麻木久仁子ニッポン政策研究所」〈生〉勝川俊雄 准教授
- 1.1 『日本の漁業に未来はあるのか?』前編・後編

## 大学間協定

- 2010.5.21 タイ・コンケン大学 (更新締結)
- 2010.7.23 インドネシア・ハルオレオ大学 (新規締結)
- 2010.5.31 タイ・カセサート大学 (更新締結)
- 2010.9.13 米国・ハワイ パシフィック大学 (新規締結)
- 2010.10.4 アラブ首長国連邦・シャルジャ大学 (新規締結)
- 2010.10.15 モンゴル・モンゴル国立大学 (新規締結)
- ロシア・ハバロフスク 国際経済法律アカデミー (新規締結)
- 中国・延迎大学 (新規締結)
- 2010.11.4 フランス・サボア大学 (新規締結)
- 2010.11.4 中国・廣西大学 (更新締結)



## 国際交流

- ### “I in U” Plan
- 国際機関等に勤務している邦人職員の方からの実務内容等にふれる機会を設け、国際的な舞台で活躍する人材の育成を図ることを目的としています。
- 2010.8.4 国際連合食糧農業機関 (FAO) 中近東地域事務所 自然資源 (水資源) 開発/管理担当官 阿部 信也 氏
  - 「中近東地域における水資源の現状と気候変動に対する課題」
  - 2010.10.26 (元) 化学兵器禁止条約機構 (OPCW) 大西 信三 氏
  - 「国際機関の実務について」  
—長い条約交渉を経て国際機関が設立され、そしていかに維持されているか(査察等により)—  
—大学での応用化学の知識をいかに使ったか—
  - 2010.12.8 国際連合人権高等弁務官事務所 パレスチナ被占領地区副事務局長 高橋 宗瑠 氏
  - 「パレスチナに於ける人権問題」
  - 2010.12.21 JICA個別専門家 (中米統合機構 広域協力アドバイザー) 中米統合機構 (SICA) 事務局国際部 齋藤 千佳 先生
  - 「HIV・エイズとスティグマ」

## テレビ&ラジオ

皆さん、聴いてください!

FM三重で放送中!!

～学生の企画するFMラジオ番組～

### 「Campus CUBE」

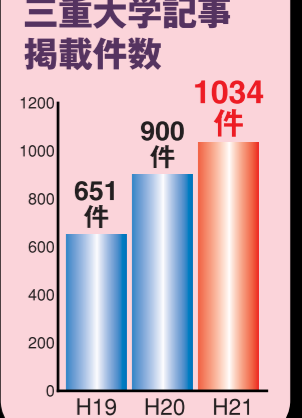
大学の取り組みや活動を伝えています! 毎週金曜日20:30～20:55の間の25分間、放送中です!

メンバー紹介

- パーソナリティー 高橋和代
- ミッチェル
- アトム
- サヨミン

★大学で収録

## 新聞 三重大学記事掲載件数



特集 産学官民連携

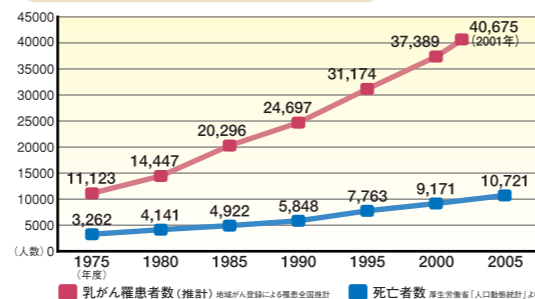
安心を手に入れませんか？

乳がんリスクファクター

- 1 年齢40歳以上
- 2 30歳以上で未婚
- 3 初産が30歳以上(結婚経験がない人を含む)
- 4 閉経年齢が55歳以降
- 5 肥満(特に50歳以上、標準体重の20%以上)
- 6 良性の乳腺疾患(特に増殖性、異型を伴うもの)になったことがある
- 7 家族(特に母、姉妹)に乳がんになった人がいる
- 8 乳がんになったことがある



乳がん罹患患者数・死亡者数



乳がんの10年生存率



三重乳がん検診ネットワークを知ろう

特定非営利活動法人である三重乳がん検診ネットワーク(<http://mie-mmgnnet.jp/>)は、今から6年前に認可を受け、マンモグラフィ(乳房X線検査)検診を通じて、県内のマンモグラフィ検診を行う医療機関が集まって、検診の普及啓発、精度向上や検診に係る人材の育成などの活動を行っています。乳がん検診を受けられる方に同意を得た上で、各人固有のID番号の付いたカードをお渡しし、各受検者の検診内容登録を行っています。これらの登録情報は、当法人が管理する専用サーバに保存、一括管理しています。現在、登録者数は102,210人(平成22年11月30日)であり、県内40歳以上の女性人口の約2割に達しました。

乳がん検診を県全域で応援します

平成22年4月より2年間、三重県から乳がん検診事業全般に関する事業委託を受け、乳がん検診に関する啓発、実態把握、精度管理など、県内全域を対象として行っています。10月9日には県内17医療機関が一致協力して、約400人を対象に、無料マンモグラフィ体験イベントを行いました。国はがん検診受診率を50%以上にすることを掲げており、当法人では現在、三重県内において乳がん検診受診率50%が達成可能であるかどうか、県内マンモグラフィ検診実施全施設を対象として調査を行っています。今後も、様々な啓発イベントや調査、情報公開を行い、県全体で乳がん検診の充実を支援していきます。



三重乳がん検診ネットワーク 登録可能医療機関

乳がん検診ネットワーク事務局(三重大学医学部附属病院)

検査ネットワーク実行委員

三重乳がん検診ネットワーク登録システム 加入医療機関(25機関)

(平成22年11月現在)

地区	病院名	電話	地区	病院名	電話	
桑名	山本総合病院	0594-22-1211	津	永井病院	059-228-5181	
	桑名市市民病院	0594-22-7111	伊賀	伊賀市健診センター	0595-24-1186	
	ヨナハ総合病院	0594-23-2415	名張	寺田病院	0595-63-9001	
四日市	四日市社会保険病院	059-331-2000	松	松阪中央総合病院	0598-21-5252	
	四日市健診クリニック	059-330-7722		済生会松阪総合病院	0598-51-2626	
鈴鹿	鈴鹿中央総合病院	059-382-1311	阪	松阪市民病院	0598-23-1515	
	鈴鹿回生病院	059-375-1212		桜木記念病院	0598-21-5522	
津	塩川病院	059-378-1417	伊勢	市立伊勢総合病院	0596-23-5111	
	三重大学医学部附属病院	059-232-1111		町立玉城病院	0596-58-3039	
	岩崎病院	059-232-2216		山田赤十字病院	0596-28-2171	
津	三重県健康管理事業センター(サンテ)	059-228-4502	志摩	三重県立志摩病院	0599-43-0501	
	津健康クリニック	059-226-0456		南勢	尾鷲総合病院	0597-22-3111
	遠山病院	059-227-6171			三重乳がん検診ネットワーク事務局	059-231-5029



三重大学大学院医学系研究科生命医科学専攻・助教 小林 茂樹 Kobayashi, Shigeki [URL] <http://mie-mmgnnet.jp>

附属病院にて

乳がんが増えています

1960年代以降、男女とものがんで亡くなる人が増加しはじめ、最近では全体の3割の人が、がんで亡くなっています。男性においては、肺がん、肝臓がん、大腸がんで亡くなる人が増加しています。一方、女性においては、肺がん、大腸がん、乳がんで亡くなる人が増えてい

ます。乳がんで亡くなる女性の割合は、肺がん、胃がん、結腸がん、膵がんに次いで第5位ですが、乳がんにかかる割合(罹患率といいます)は第1位と高率です。乳がんが増えているのは、生活習慣の欧米化が原因のひとつと考えられています。

特集 産学官民連携

エコに配慮し進化する自動販売機

自販機 こぼれ話

日本で本格的に自販機が利用されたのは、1970年に大阪万博が開かれ、会場に自販機が設置されてからです。

この時、コイン投入口に紙幣を折りたたんで入れてしまうなど今では考えられない話がありました。また自販機の中に人が隠れていて販売しているのではと疑う人もいたようです。



自販機 まめ情報

知っていると少し得する情報(自販機の活用方法)

地震などの災害の時には、飲料の保管庫としても役立ちます。また、液晶式の自販機に通信機能を搭載すれば、表示パネルに災害情報が表示されます。



三重大学大学院工学研究科・客員准教授 岡本 元秀 Okamoto, Motohide

三重大学大学院工学研究科・准教授 丸山 直樹 Maruyama, Naoki

工学部にて

自動販売機...

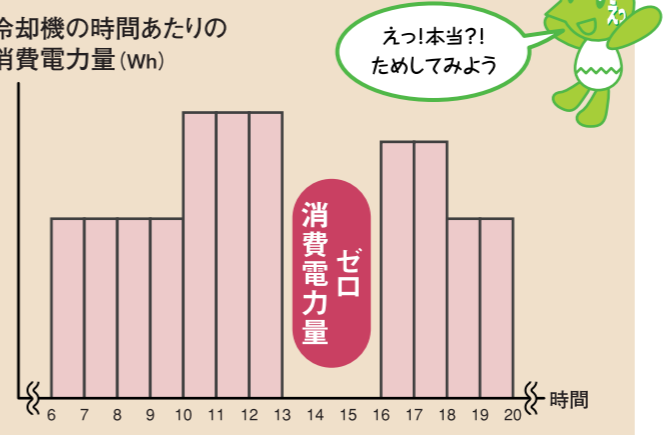
みなさんは、ふだん自動販売機を利用されているでしょうか?自動販売機は自販機と略され、まず頭に浮かぶのが飲料用の自販機ではないでしょうか。私たちの身の回りには、たいへん多くの自販機があります。例えば、駅に行けば券売機、食堂に行けば食券、たばこ、麺類、新聞、雑誌など多種多様です。他にも、卵や野菜、パンの自販機も見たことがあるのではないのでしょうか。それらの商品

の搬出は、見ていて楽しいものがあります。

自動販売機と呼ばれるものは、全国でおよそ522万台(2009年末)あります。その中、飲料を販売する自販機が約49%の257万台あります。飲料自販機には、ペットボトルや缶飲料を販売するものと、カップ飲料を販売するものがあります。カップ飲料自販機は、本体の中でコーヒーなど調合して作っています。まさしく、小型の飲料工場です。

夏場の自販機(消費電力量)ー(エコ・ベンダー)

7~9月の午後は全国で電力をたくさん使うので、飲料自販機は10~13時に「急冷却」し、午後に冷却停止。13時直前の飲み物は冷たい。(エコ・ベンダー)



未来の自販機は変化する



飲料自動販売機の開発...

飲料自販機には、夏には冷たい飲み物を、冬には温かい飲み物を提供できるように冷却/加熱機器が組み込まれています。自販機の開発は、主に、省エネルギーを目指すための新しい冷却/加熱機器の開発や、売れ行きや天候に合わせた制御の開発が行われています。この努力により、最新自動販売機の年間消費電力量は、12年前に比べ1/5以下になっています。一方、商品が出てくるまでの待ち時間に退屈しないような表示や、お客さまへのお勧め商品を紹介する機能など、かつての「無機質な販売機」から「親しみある販売機」の開発もされています。

共同研究によりエコ拡大...

三重大学と富士電機リテイルシステムズ(株)とは、包括連携協定を結び、共同研究を推進しています。工学研究科機械工学専攻にはプロジェクト研究室「エコ・プロダクツ」が設置され、今回紹介する自動販売機の省エネルギー化に関する研究は、その一つとして進められています。私たちは、自動販売機が環境に与える影響を減らすために、ライフサイクルアセスメント手法を用いて、資源使用から製造、運用、リサイクル廃棄にわたる環境影響負荷評価の研究も行っています。これをベースとして、エコリーフ環境ラベルを取得しています。

# 速報 22年度 文部科学省支援プログラム

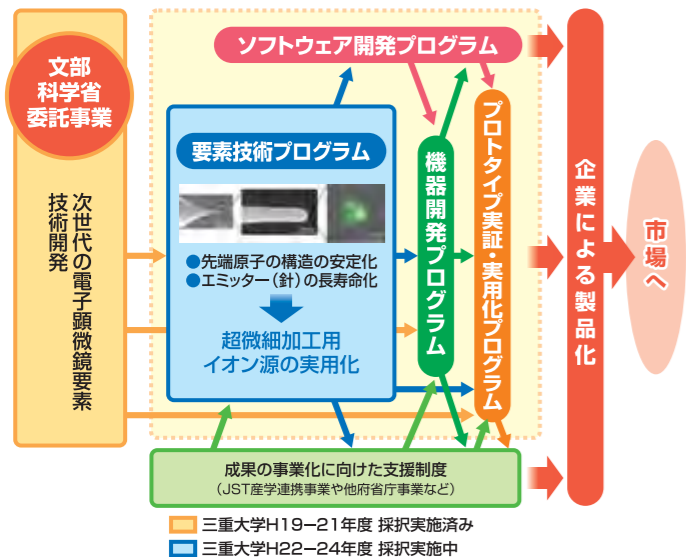
## 産学イノベーション加速事業 「先端計測分析技術・機器開発」

産学による基礎研究基礎強化や技術開発基盤強化のための研究開発、革新的な基礎研究成果をもとにした大規模な研究開発など、特にイノベーションを加速する効果の高い産学による取組を支援します。

## 「ナノプローブ形成用 電界電離型ガスイオン源の開発」

本学を代表機関として平成19年度～21年度に実施された文部科学省委託事業「次世代の電子顕微鏡要素技術の開発」の研究成果を進展させ、ナノテクノロジー分野の主力装置である集束イオンビーム装置の飛躍的な性能向上を目指したプログラムです。また、今年度より3年間、民間企業と連携し研究開発を行います。

### ◎ 先端計測分析機器の事業化に向けたロードマップ ◎



### 振興調整費

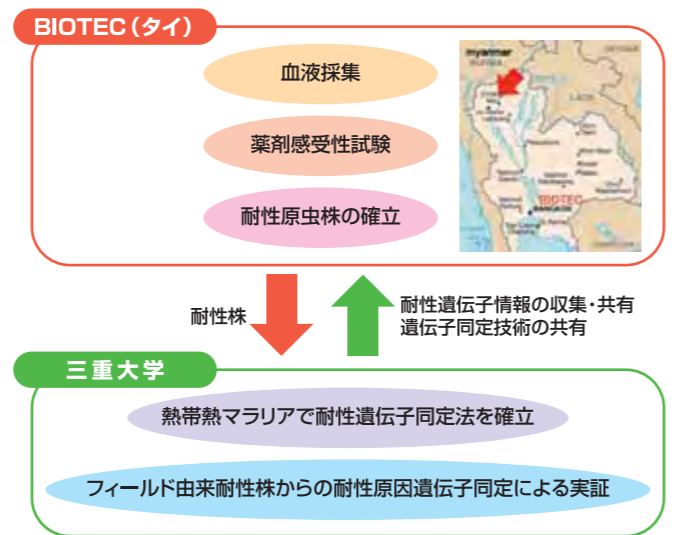
## 「国際共同研究の推進」

科学技術外交の強化の一環として、アジア・アフリカ諸国等と国際共同研究を実施することを通じて、国際的な科学技術コミュニティを構築するとともに、アジア・アフリカ諸国等の政府レベルでの協力関係の強化・構築を目指します。

## 「マラリア原虫薬剤耐性 遺伝子を同定する 革新的技術の開発」

マラリアは世界100カ国以上で流行し、年間約3億人の感染者と約100万人の死者を出す世界3大感染症のひとつです。しかしながら、薬剤耐性原虫の世界的な分布拡大によりその対策は極めて困難となっています。本研究は薬剤耐性マラリア原虫の世界的な発生源であるタイ国のマラリア専門家と協力し、各種抗マラリア薬に対する耐性遺伝子を同定する革新的技術を開発することを目的とします。本技術は薬剤耐性マラリア原虫の拡散を防止する強力な手段となると共に、耐性を生じにくい薬剤の開発に繋がることが期待されます。

### ◎ プロジェクトの概要 ◎



### 振興調整費

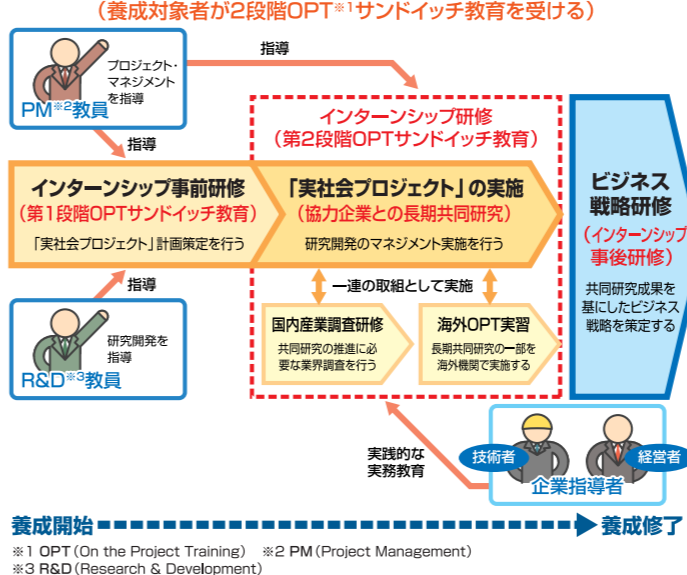
## 「イノベーション創出若手研究人材養成」

産業界などの実社会のニーズを踏まえた発想や幅広い視野などを身に付けた人材を養成するシステムを構築し、イノベーション創出の中核となる若手人材を輩出します。

## 「イノベータ養成のための サンドイッチ教育」

このプログラムは、地域イノベーション研究科で今年度から5年間取り組むもので、若手研究者と博士後期課程の大学院生を養成対象とする新たな教育システムを構築し、高度な研究開発能力、プロジェクト・マネジメント能力、グローバル化に対応した国際感覚のすべてを備えた「プロジェクト・マネジメントができる博士人材」を養成し、地域産業界の活性化を牽引するイノベータとして産業社会に送り出すことを目標として実施します。

### ◎ 教育プログラムの特長 ◎



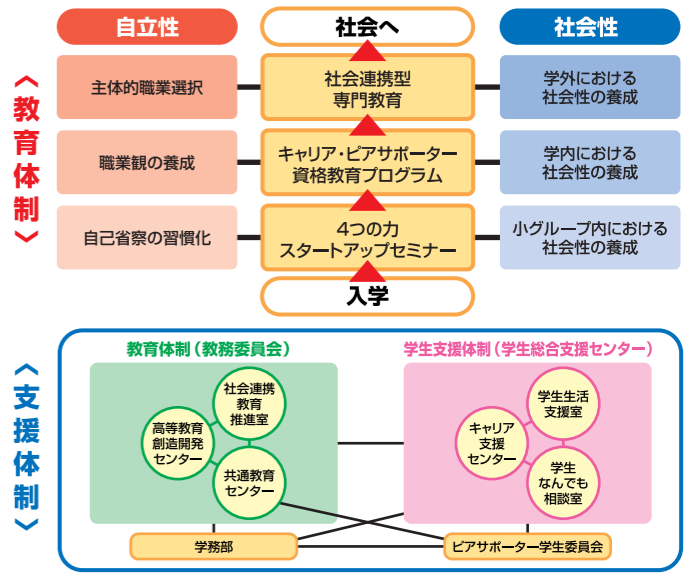
## 「大学生の就業力育成支援事業」

本事業は、各大学・短期大学における、産業界等との連携による実学的専門教育を含む、学生の卒業後の社会的・職業的自立に向けた新たな取組を国として支援するものです。

## 「自他共に成長を目指す 幅広い職業人の養成」

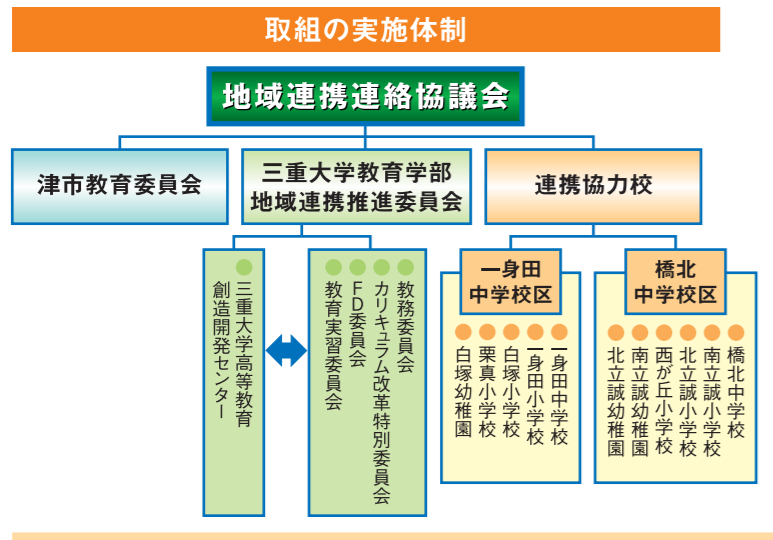
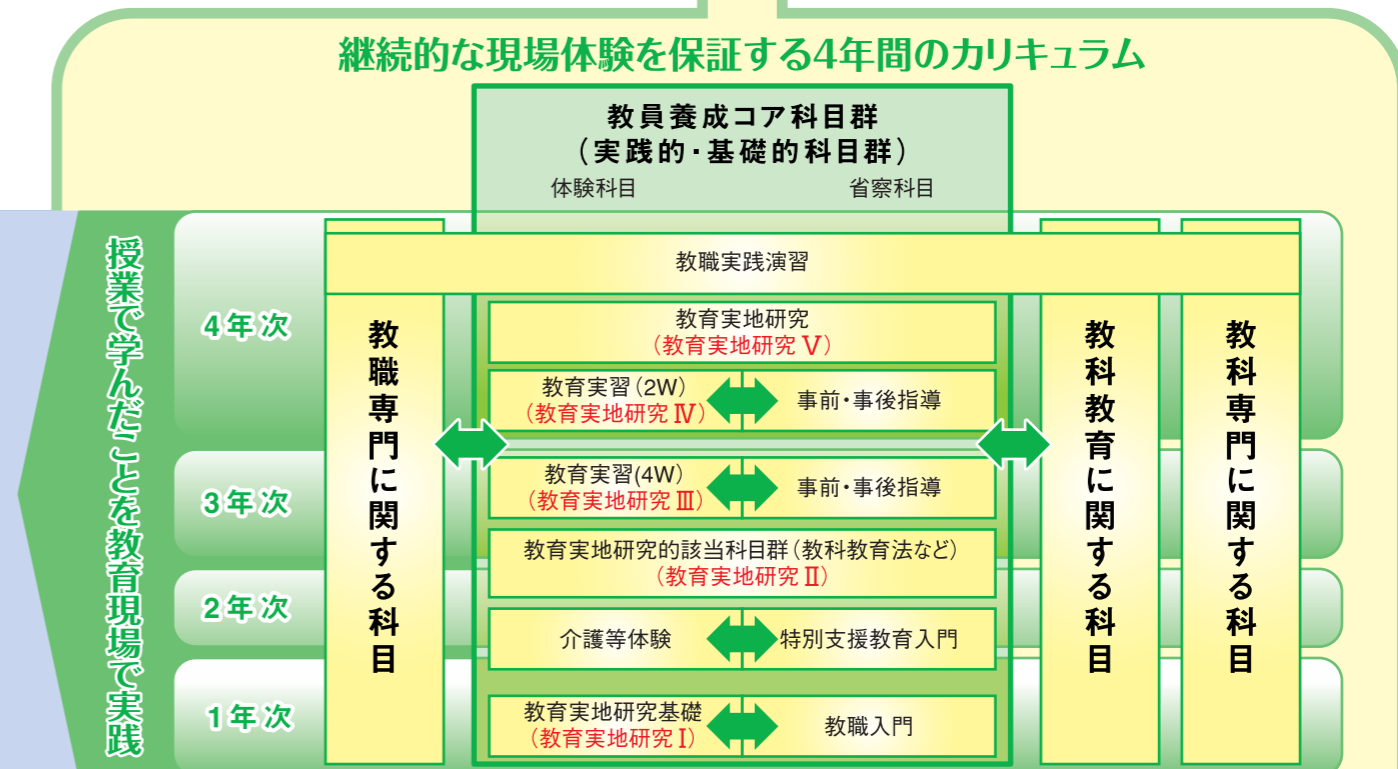
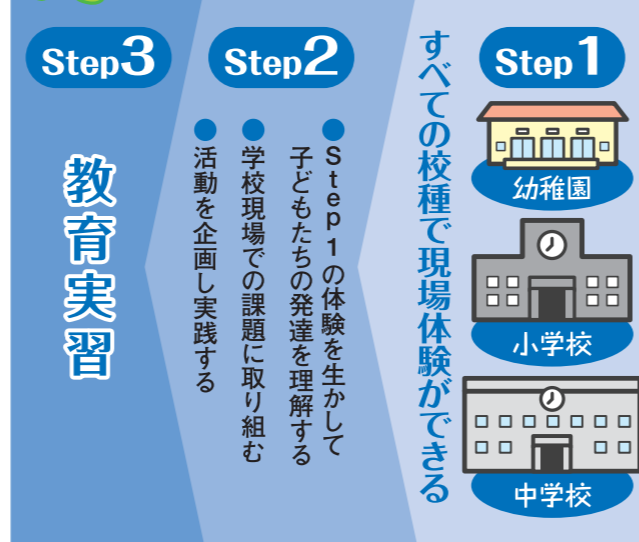
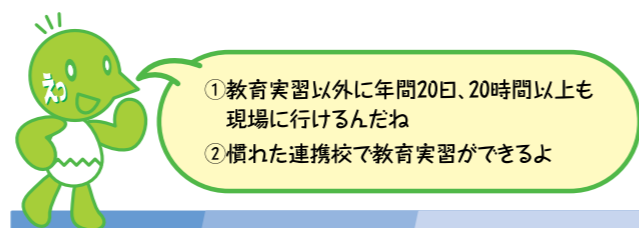
このプログラムは、自他共に成長を目指す社会性と、主体的に学習目標を設定して実践知を獲得する自立性を身につけさせることにより、感豊かな職業観・社会観涵養に結びつくキャリア教育プログラムと就業支援体制を構築しようとするものです。本学が全学的に展開してきたPBL (問題発見解決型学習) を基盤に、入学から卒業まで、継続的な自己省察と目標設定を行わせるカリキュラム整備を進めるとともに、学内をアカデミックコミュニティ (自立性と社会性を発揮する実践の舞台) として整備し、教職員と学生が協働で全学的学生支援・就職支援体制を構築します。

### ◎ 自立性と社会性を育む教育プログラム ◎



# 多様な教育現場に対応できる教員の養成

これまでの本学と隣接する一身田中学校区の学校園と行ってきた連携を橋北中学校区まで拡大(2中学校・6小学校・3幼稚園)し、教育委員会との連携協力を深化させ、現場体験を核とした質の高い教員を養成する教育モデルを構築しようとするものです。学生が多様な教育課題への支援や現場の活動に参加し、大学での省察の往還を通して、実践的指導力を育成します。



**A** 学校園の教育的支援となる学生の実地研究

- 授業参観
- 学習補助
- 特別活動
- 教育実習

教育実習(一身田中学校)

**B** 学校園の教員からの指導が主となる学生の実地研究

- 学生指導
- 教育実習指導
- 連携教員による講義

連携学校教員との授業研究会

**C** 主に大学教員による学校園に対する教育支援活動

- 特色ある授業作り
- 公開授業への助言
- 教科力アップ研究会

ラート研修(一身田中学校)

**D** 大学を活用した地域活動

- 大学を活用した選択授業
- 子どもを主体とした地域活動

白塚幼稚園遠足(本学キャンパス)



9月

10日 三重県立石薬師高校 キャンパス内見学

訪れた高校生たちは風力発電用の風車を見学し、大きさに感心している様子でした。



附属図書館玄関前にて

10日 「第1回三重大・岡三シンポジウム」

—三重県の未来を拓く—

三重の地域文化の活性化を図ることを目的に包括協定事業の一環として開催されました。建築家の安藤忠雄氏による講演等が行われ、950名を超す参加者が熱心に聴き入りました。

10日 NHKBS2「ドウ!エアロビック」収録

本学講堂で収録があり、100名以上の学生・教職員が参加しました。



14日～25日 近代建築家「アントニン・レーモンド」展

- ◎展示「札幌聖ミカエル教会」とアントニン・レーモンド展(9/14～25)
- ◎講演会「レーモンドと日本」(9/18)
- ◎特別公開「三重大レーモンドホール」(9/14～25)

9月18日の講演会(講師:京都工芸繊維大学松隈 洋教授)には、160名の参加がありました。また、レーモンドが1951年に設計した国登録有形文化財「レーモンドホール」(旧県立図書館より移築)の特別公開に680名、展示会に約1,000名の来訪があり、大変好評を博しました。



29日 附属小学校で「命の授業」

(財)ライフプランニングセンターの日野原重明理事長より、4年生の全児童113名に授業が行われました。心に響く話をされ、子どもたちは99才の先生の存在そのものに「命」を感じ、熱心に聴き入っていました。



10月

2日～7日 大学ファーム・楽農講座 開講

～三重大・津中日文化センター共同企画～  
受講生は三重大農場において3月までの講座開催期間にジャム作りやそば打ちなど実技を通して農業への理解を深めます。



5日 三重大農場で農業体験

地域の小中学校と連携する生物資源学研究科の教育ファーム事業の一環として、市立芸濃中学校の2年生66名が稲刈りや脱穀体験をしました。またこの日は大里小学校3年生の枝豆の収穫もありました。



9日 世界遺産研修会

「熊野古道とユネスコスクール普及講座」

県内教育関係者や学生の参加があり、「熊野古道語り部友の会」の皆さんと意見交換会などを行いました。今後も、ユネスコの理念に沿った取り組みを継続的に実施しユネスコスクールネットワーク作りを推進していきます。

14日 自転車の盗難防止キャンペーン

学生防犯ボランティア「三重大安全安心パトロール隊」が学生にワイヤー錠とチラシを配付しながら防犯登録・ツーロックを呼びかけました。用意されたワイヤー錠はまたたく間に無くなりました。



生物資源学部前駐輪場にて

14日～18日 COP10パートナーシップ事業開催

- ◎伊勢湾洋上環境学習(勢水丸)・亀山里山学習・関宿見学・シャープ(株)見学(10/14～15)
- ◎アジア・太平洋大学環境コンソーシアム国際環境教育シンポジウム、三重大(10/16)
- ◎国際環境フォーラム、COP10会場(名古屋学院大学)(10/18)

「COP10 in 三重」が三重大主催で開催され、アジア・太平洋の7か国から子ども、大学生、教職員の約200名が参加し、生物多様性の保全や国際環境協力の大切さを体験しました。



15日～19日 地域中学校とのコラボ音楽祭

中学生が日頃の練習の成果を発揮できるように、音楽科の学生が中学校に通い、練習の支援をしました。



一身田中学校と連携した音楽祭「絆」



橋北中学校と連携した音楽祭「獅子奮迅」

16日 タンパク質「ナノス」を解析

生物資源学研究科の田丸浩准教授らの研究チームが、生殖細胞の形成に重要な働きをするタンパク質「ナノス」の構造解析に成功しました。JAXAによって、2011年6月に宇宙に打ち上げられる予定です。

18日 共通教育講演会 「明日を生きる力のために」

アルコール依存症から苦勞の末断酒に成功し再活躍されている模様が語られ、多くの参加者約300名が熱心に聴講しました。



講師:ライブアPJニュース 長戸稔氏

19日 松阪市中部中学校 キャンパス内見学

訪れた中学生たちは登録有形文化財の三翠会館や講堂を見学しました。キャンパスの広さに驚いた様子でした。



21日 女性研究者支援事業シンポジウム

神戸大学大学院の朴木佳緒留教授による講演やパネルディスカッションがあり、この3年間の活動成果と今後の課題について活発な意見交換が行われました。最後に、内田淳正学長が共同宣言「理系女性が三重を元気に」を代表で発表しました。

22日 第30回全国きき酒選手権大会 個人の部 第5位



高田奈実さん(生物資源学部 4年)

11月

6日～7日 三重大学祭「みえがお」

100を超える模擬店が並び、ゲストの“HEY-SMITH”と“SHANK”によるライブ等さまざまなイベントが催され、訪れた人々にぎわいました。



イベントが催され、訪れた人々にぎわいました。

7日 美し国おこし・三重大さもり塾公開シンポジウム 「災害に備えたまちづくり・人づくり」

三重県教育文化会館で開催され、復興まちづくりの専門家を招いた講演やパネルディスカッションが行われました。

13日 第3回「四日市久留倍遺跡まつり」

奈良から特別参加したせんと君と共に300人の市民が秋晴れの伊勢路のウォークを楽しみました。



古代衣装をまとった人々

13日～14日 「三重大学・食と農業を科学するリサーチセンター」が津市と四日市の魅力紹介イベントへ出展

地域と連携開発した「おからの出ない豆乳・豆腐」、「黒にんにく」、「ブルゴーニュ種エスカルゴ」等と大学ブランド「三重大学カレー」、「日本酒三重大学」は大人気。



代々木公園(東京都)で開催された「MAHOROBA」

14日 「どんとこい大台まつり」で鹿肉料理

大台町と三重大生が、獣害対策で駆除されたニホンジカの肉を使った商品「ダイコンおろシカ」



「鹿肉まん」を開発し、振る舞いました。今後特産品化を目指します。

16日 第10回全国障害者スポーツ大会 「ゆめ半島千葉大会」報告会

見事銀メダルを獲得した職員の伊藤健太さんと善戦した古謝宏二さんは、内田淳正学長から「三重大大学の誇りだ」と健闘を称えられました。



古謝宏二さん(左端)と伊藤健太さん(右から2人目)

16日 人文学部で外交講座を開催

外務省より尾崎壯太郎氏を講師に迎え、「日本の領土」をテーマに行われました。学生からも活発に質問や意見が出され、60名余りの出席者は講演の内容に強い印象を受けたようでした。



10月30日～11月13日 NHK大河ドラマ 「江～姫たちの戦国～」講演会

11月20日に行われた講演会では、時代考証をされている小和田哲男先生(写真中央)に、母「お市の方」と「茶々」「初」「江」の三人の姫について語っていただきました。



27日～28日 第8回青少年のための科学の祭典 2010 三重大学大会

ロボットを操縦して動かすなど、科学の魅力に触れた小学生らは楽しそうでした。2日間の来場者は約3,800名となり、過去最高の人出となりました。



本学講堂(三翠ホール)にて

\* ゆみなりほ 日本酒「弓形穂」ができました

河武醸造(株)と産学連携により開発されたお酒「弓形穂」ができました。





### 第2回エコ大学ランキング(2010年) 総合1位に選出

国公立大学			私立大学		
順位	機関名	点数	順位	機関名	点数
1	三重大大学(三重県)	552	1	日本工業大学(埼玉県)	471
2	岩手大学(岩手県)	549	2	郡山女子大学、同短期大学部(福島県)	462
3	筑波大学(茨城県)	483	3	東京都市大学(横浜キャンパス、神奈川県)	460
4	名古屋大学(愛知県)	468	4	千葉商科大学(千葉県)	445
5	琉球大学(沖縄県)	460	5	成蹊大学(東京都)	439

点数は1,000点満点

### 本の紹介

**『森林社会学への道』**  
 本書は、森林・林業について、伝統的な共同管理の衰退、地縁・血縁的な労働力確保の困難化、経営の悪化などが進むなかで、日本の林業・林政の歴史をたどるなかから、環境を媒介とした都市住民との新しい関係性の構築によって問題解決の方向性を求めています。

単著／三井昭二(生物資源学研究所・教授)  
 定価／2,857円(税別) 発行／日本林業調査会  
 ISBN : 978-4-88965-202-4 C0061

**『さくら百科』**  
 編著／永田 洋(名誉教授)他  
 定価／7,000円(税別)  
 発行／丸善株式会社  
 ISBN : 9784621081938

**『三角縁神獸鏡が映す大和王権』**  
 中国古銅鏡の蒐集と研究の趣味が高じて、この本を書きました。卑弥呼の邪馬台国と狗奴国との時空を超えた対立関係を軸に歴史を見ると、古代の歴史的事象が矛盾なく理解できることがわかりました。この歴史観に基づいて、天照大神神話、三角縁神獸鏡、仿製内行花文鏡、倭鏡、銅鐸・銅矛などの青銅製祭器、そして古墳の被葬者と大和王権との関係などについて論考しました。

単著／宮崎照雄(生物資源学研究所・教授)  
 定価／1,429円(税別) 発行／梓書院  
 ISBN : 978-4-87035-392-3

**『水・風・鉄 自然と神道文化3』**  
 共著／水越允治(名誉教授)他  
 定価／1,500円(税別)  
 発行／弘文堂  
 ISBN : 9784335160622

**『昭和旅行誌 雑誌「旅」を読む』**  
 大正末に創刊して以来、昭和期全体にわたって旅行の楽しみから規範までを伝えつづけた雑誌「旅」。限らない懐かしさを感じるのはもちろんですが、それだけではなく、読めば読むほど、時代ごとの日本人の旅行観の変遷が見えてきます。戦前戦後を生き抜いた雑誌の隅々から、執筆者、読者、編集者たちの苦楽が立ちのぼってきます。

単著／森 正人(人文学部・准教授)  
 定価／2,200円(税別) 発行／中央公論新社  
 ISBN : 978-4-12-004182-2-C0026

**『ワークブックで学ぶ生物学の基礎』**  
 著者／リチャード・アラン  
 監訳者／後藤太郎(教育学部・教授)  
 定価／3,000円(税別)  
 発行／株式会社オーム社  
 ISBN : 978-4-274-50214-9

### 学生表彰

**第29回分析化学中部夏期セミナーポスター講演奨励賞(2010.8.19)**  
 工学研究科(修)1年 蜂須賀功真(写真左)  
 工学研究科(修)2年 岸 卓摩(写真右)  
 (教授 太田清久)

**(社)日本トライボロジー学会 第1回トライボロジー秋の学校優秀ポスター賞(2010.9.17)**  
 工学研究科(修)1年 三嶋将太(准教授 中村裕一)

**(社)日本農芸化学会中部支部 第159回例会 日本農芸化学会 中部支部企業奨励賞(2010.10.30)**  
 生物資源学研究所(博)1年 長崎はるか(准教授 青木直人)

**3大学国際ジョイントセミナー&シンポジウム2010(2010.11.9~12) Best Student Paper Award**  
**テーマ:Food(食料)**  
 生物資源学研究所(修)2年 岡田まどか(写真左)(学長補佐・教授 江原 宏)  
**テーマ:Communication(コミュニケーション)**  
 教育学研究科(修)1年 魏 敏(写真右)(教授 橋本博孝)

( )内は指導教員 学年は受賞当時

### 表彰

受賞者	受賞名(受賞日)
大学院工学研究科 教授 矢野賢一 他4名	2010年度計測自動制御学会 学会賞(論文賞)(2010.8.20)
生物資源学研究所 附属教育研究施設 附帯施設農場 技術専門員 宮崎洋介	平成22年度全国大学農場技術賞(2010.8.30)
大学院工学研究科 教授 平松和政	応用物理学会フェロー表彰証(2010.9.14)
大学院生物資源学研究所 教授 寺西克倫	第5回モノづくり連携大賞 新技術開発賞(2010.11.10)
医学部附属病院 准教授兼副薬剤部長 岩本卓也	日本医療薬学会 学術奨励賞(2010.11.13)

### クラブ・サークル表彰

**合唱団** (社)全日本合唱連盟中部支部・三重県合唱連盟・朝日新聞社主催 第63回全日本合唱コンクール 中部支部大会 **銀賞** (2010.9.25)



惜しくも銀賞!  
 来年は全国大会目指してがんばります!

**こっ極津** 津まつり 安濃津よさこい大賞 (2010.10.10)



8月29日の第12回にっぽんど真ん中祭りでも、「奨励賞」を受賞!

**端艇(カッター)部** 全日本カッター連盟主催 第56回西日本新人カッター競技大会 一般の部 **第3位** (2010.11.3)



▲長崎県時津西彼杵郡時津町 久留里郷にて

昭和30年から行われている西日本新人戦に、三重大学は昭和31年から出場!

### 附属病院から

**歌って認知症に効果はあるの?**  
 2010年4月、国立大学で初となる認知症の専門講座「認知症医療学講座」を設置し、2011年度からカラオケを用いて歌うことが認知症に及ぼす効果を科学的に解明するための臨床試験を実施します。それに先だち、この臨床試験に協力してもらえらる方を募集します。  
 ◎対象者◎ 軽度認知障害またはアルツハイマー病が疑われる患者様  
 ◎期間◎ 平成22年12月~平成23年11月  
 ◎内容◎ 臨床試験への参加同意のもと、毎週1回病院でのカラオケ音楽療法の受講、週3回の自宅トレーニング、神経心理検査や頭部MRI検査(随時)など。  
 ◎問い合わせ先◎ 認知症医療学講座 佐藤正之(医学部・准教授)  
 ☎059-231-6027(または同神経内科☎059-231-5107)  
 FAX059-231-6029

### 附属学校園から

**附属幼稚園**  
**公開保育研究会のお知らせ**  
 ◎研究主題◎ 「教育課程の実践と定着II」 ~「活動を支えるもの」を見直す 表現・人間関係編~  
 ◎日時◎ 平成23年1月22日(土)9:00~  
 ◎場所◎ 教育学部附属幼稚園 ◎参加費◎ 2,000円  
 ◎申し込み◎ 附属幼稚園のホームページからお申し込み下さい。  
 ◎問い合わせ先◎ 附属幼稚園/☎059-227-1711

**幼稚園の園庭で遊びませんか?**  
 園庭を開放しています。  
 ◎日時◎ 月曜日 15:00~16:00 木曜日 13:00~16:00  
 ◎その他◎ 事務室受付で名前を記入してから遊んでください。トイレは管理棟、昇降口の所をご利用ください。ゴミはお持ち帰りください。使った玩具は必ず片づけてください。

### 附属小学校

**平成22年度公開研究会のご案内**  
 ◎研究主題◎ 子ども一人ひとりが(わかる)授業(第1年次)  
 ◎内容◎ 各教科の公開授業と協議会  
 ◎日時◎ 平成23年2月11日(金) 祝日  
 ◎会場◎ 教育学部附属小学校  
 ◎参加費◎ 1,500円(学生1,000円)  
 ◎問い合わせ先◎ 教育学部附属小学校/☎059-227-1295  
 【URL】http://www.fuzoku.edu.mie-u.ac.jp/ sho/  
 ※詳細につきましては、12月中旬頃に本校ホームページでお知らせします。

### 附属中学校 — 報告 —

**皆様の温かいご声援により、下記クラブが優れた成績を取ることができました。**

- 音楽部  
NHK、全日本音楽教育研究会、日本教育音楽協会主催 「第77回NHK全国学校音楽コンクール」全国大会で **優良賞** (2010.10.10)  
▲東京のNHKホールにて
- 陸上部  
津市中学校体育連盟主催 「第5回津市中学校駅伝競走大会」で男女そろって **上位入賞** (2010.11.6) 三重県大会へ **出場** (2010.11.20)し、力走しました。

### 公開講座・シンポジウムなど

**「発見塾」三重大学シリーズ 2010**  
 ◎問い合わせ先◎ 津市文化協会事務局/☎059-228-8393

- 目からウロコ! 背骨の病気の発見  
 ◎講師◎ 笠井裕一(医学系研究科・教授)  
 ◎日時◎ 平成23年1月22日(土) 13:30~  
 ◎会場◎ 津市白山総合文化センター 多目的室
- 江戸時代の伊勢参り — 津を通った弥次さん喜多さん —  
 ◎講師◎ 吉丸雄哉(人文学部・准教授)  
 ◎日時◎ 平成23年3月19日(土) 13:30~  
 ◎会場◎ 津図書館2階 視聴覚室

初瀬街道 阿保宿



阿保宿の町並み



初瀬街道交流の館たわらや

初瀬街道交流の館たわらや
開館時間：9時～16時30分(毎週火曜閉館)
入館料：無料



★阿保へは近鉄「青山町駅」下車



▲講看板

お願い 三重大学振興基金へのご協力をお願いします

三重大学の目的・使命を達成する一助となることを目的に「国立大学法人三重大学振興基金」を設立しました。次の事業を計画しておりますので、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

- ◎学生への奨学金及び災害時の学資援助事業
◎学生の修学環境整備事業
◎学生・教職員の海外留学その他国際交流活動等への支援事業
◎地域貢献支援事業
◎その他本学の目的達成に必要な事業

●募金の方法●三重大学振興基金事務局までご連絡いただくか、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードしていただき、ご記入の上ご郵送ください。(FAX・E-mailでもOKです)。

三重大学振興基金事務局
【総務部総務チーム内】
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000
E-mail: kikin@ab.mie-u.ac.jp
URL: http://www.mie-u.ac.jp/fund/

メールマガジンのご案内

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを配信しています(発行:毎月末)。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、「三重大」に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々のご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

皆様のご登録を心からお待ちしております。
次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。
1.メールのタイトルは『メールマガジン希望』と記入してください。
2.メールの本文に、以下の事項を添えてください。
①「一般」もしくは、「三重大生(保護者)」 ②お住いの都道府県
koho@ab.mie-u.ac.jp
できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。携帯電話の場合、受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただくことになります。

アンケートに答えて…

三重大学オリジナル“えっくすくんわくわくシャーペン”をもらおう!!
「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力をお願いします。アンケートにお答えいただいた方には、「えっくすくんわくわくシャーペン」をお送りします。
どしどしお寄せください。(先着100名)
\*なお、お寄せいただいた個人情報は、景品発送のみに使わせていただきます。
→「えっくすくんわくわくシャーペン」ご希望の方は、巻末の綴じ込みはがきにご感想等必要事項をご記入の上ご投函ください。



親&子どものサポートを考える会 第2回講演会～精神障がいの母と暮らして～
◎講師◎ 野村忠良(東京都精神障害者家族会連合会 会長)
◎日時◎ 平成23年2月6日(日)13:00～16:30 ◎会場◎ 三重大学医学部 臨床講義室3
◎参加対象者◎ 精神障害者とその家族、精神障害者や家族の支援に当たる者、精神領域に関心のある学生(大学生・高校生)約300名
◎問い合わせ先◎ 三重大学医学部看護学科内 親と子どものサポートを考える会 担当 土田幸子(看護学科・助教) / ☎059-231-5260

三重大学アカデミックフェア2011
◎日時◎ 平成23年2月11日(金)10:00～17:00 ◎会場◎ 三重大学講堂(三翠ホール)
◎問い合わせ先(担当)◎ 三重大学共通教育センター 小倉 / ☎059-231-9351

第4回市民公開講座 がんから身を守る!!知ってほしい消化器がん～胃がん・大腸がんの診断と治療～
◎日時◎ 平成23年2月19日(土)13:00～16:30(開場12:00)
◎会場◎ 三重県総合文化センター 中ホール
◎連絡先(担当者)◎ 三重大学医学部附属病院がんセンター
〒514-8507 津市江戸橋2-174 FAX059-231-5348 Eメール gan-center@mo.medic.mie-u.ac.jp
◎その他詳細◎ 参加費無料(事前申込 申込先着順 950名様)
はがき、FAX、Eメールのいずれかの方法で「住所」、「氏名」、「電話番号」、「ご希望の人数」をご記入の上、お申し込み下さい。
また、「がん医療」に関する質問がございましたら、併せてご記入下さい。

第1部 [13:00～15:05]
●消化器がん検診の現状と問題点…小林茂樹(附属病院 健診センター 副センター長)
●内視鏡による胃癌の早期発見と治療…田中匡介(附属病院 光学医療診療部 副部長)
●ここまで進んだ大腸がんの治療…井上靖浩(附属病院 消化管外科 講師)
●三重医療安心ネットワークを用いたこれからのがん地域連携…櫻井洋至(附属病院 がんセンター 地域連携部門長)

第2部 パネルディスカッション [15:25～16:30]
●これからのがん医療について

高齢化社会と過疎地域を元気に生きる～ドイツと日本における新たな試み～
◎日時◎ 平成23年3月8日(火)13:30～17:00 ◎会場◎ 三重大学総合研究棟メディア・ホール
◎連絡先(担当者)◎ 大河内朋子(人文学部・教授) / ☎059-231-9125
第1部 講演会 [13:30～15:00]
●ドイツにおける少子高齢化社会への取り組み(通訳付き)
…クラウス・アイルリヒ(ドイツ大使館 労働・保健・社会保障問題担当参事官)
●三重県における少子高齢化社会への取り組みおよび過疎化対策
…加藤仁志(三重県政策部企画室)

第2部 シンポジウム [15:20～17:00]
●高齢化社会と過疎地域を元気に生きる～ドイツと日本における新たな試み～
…コーディネーター 石阪智規(人文学部・准教授)

三重大学国際講演会 アプリシエーティブ・インクワイアリー～人と組織の可能性を引き出すアプローチ～
◎日時◎ 平成23年3月14日(月)14:30～16:30 ◎会場◎ 三重大学共通教育190番教室
◎受講料・定員◎ 無料・200名 ◎申込み◎ 不要
◎問い合わせ先◎ 高等教育創造開発センター / ☎059-231-5615

催し物 三重大学美術教育コース卒業・修了展覧会
三重大学教育学部美術教育コースの学生(59期)、大学院生による卒業制作展覧会です。
◎日時◎ 3月2日(水)～3月6日(日)9:30～17:00(最終日は15:00まで)
◎会場◎ 三重県立美術館 県民ギャラリー ◎入場料◎ 無料
◎問い合わせ先◎ 三重大学デザイン研究室 / ☎059-231-9275

三重大学農場直売会
◎販売日時◎ 毎月第3水曜日開催予定
3月・8月・10月(10:00～13:00) それ以外の月(9:30～11:00)
◎会場◎ 三重大学農場(津市高野尾町2072-2)
◎販売品◎ 味噌、マーマレード、イチゴジャム、野菜、果物、花苗、お茶など
◎問い合わせ先◎ 三重大学附属教育研究施設チーム / ☎059-230-0044(代表)

「お知らせ」公開講座シンポジウムなど／催し物／「お願い」三重大学振興基金・メールマガジン・アンケート

本誌お問い合わせ先
三重大学総務部総務チーム広報室
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL 059-231-9789 / FAX 059-231-9000
ホームページ http://www.mie-u.ac.jp/
E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp \*ご意見をお寄せください。

三重大 X[えっくす] vol.24
平成23年1月15日発行
●発行／三重大学広報委員会
●編集／三重大学広報室
●印刷／有限会社アートピア artopia@zvtv.ne.jp
◎禁無断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。

入試情報

# 平成23年度 三重大学個別学力検査

本学の一般入試は、学部・学科・課程等の入学定員を分割し、「前期日程」及び「後期日程」により入学者を募集する「分離分割方式」で実施します。

人文学部・教育学部・医学部・工学部・生物資源学部

## 実施日程

	前期日程	後期日程
出願期間 (郵送に限ります)	平成23年 1月24日(月) ~ 2月2日(水) (必着)	
個別 学力検査 等の日程	平成23年 2月25日(金) (医学部は2月25日(金)、26日(土)の2日間)	平成23年 3月12日(土)
合格者 発表	平成23年 3月8日(火) 午前10時頃	平成23年 3月23日(水) 午前10時頃

### ▲平成23年度個別学力検査の主な変更点▲

- 医学部** ◎医学科において2段階選抜を実施。(前期日程では志願者数の5倍、後期日程では志願者数の10倍を超えた場合)
- 生物資源学部** ◎後期日程において個別学力検査を実施。

●「三重大学学生募集要項(一般入試)」は、本学学務部入試チームにて配付しています。

●「三重大学学生募集要項(一般入試)」の請求方法など入学試験に関することは、本学ホームページ↓

<http://www.mie-u.ac.jp/exam/>

「入試情報」をご覧ください。

(TEL.059-231-9063(学務部入試チーム))

### 携帯電話サイト

募集要項等の請求方法、志願状況速報などの各種情報を携帯電話にて閲覧することができます。



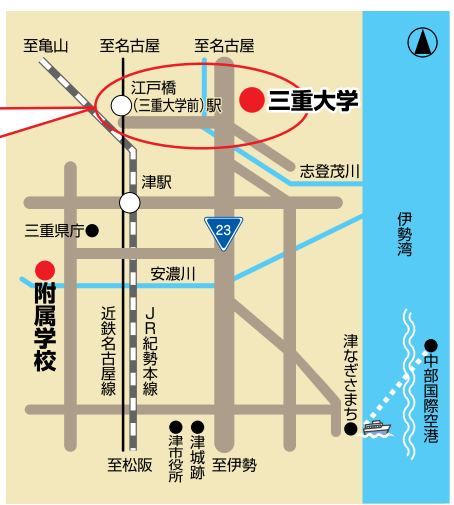
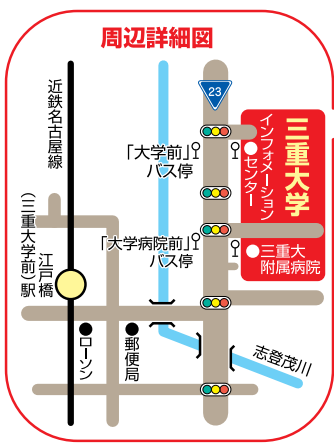
QRコード ↑

※対応する携帯電話で読み取ることができます。

### ●アドレス●

<http://daigakuju.ac.jp/mie-u/>

平成23年度大学入試センター試験  
平成23年 1月15日(土)・1月16日(日)



### 交通のご案内

- 近鉄江戸橋(三重大学前)駅から徒歩約15分
- 津駅からタクシーで約10分
- 津駅前バスのりば「4番」から三交バスで「白塚駅前」(06系統)、「太陽の街」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)行きで、「大学前」下車。
- 中部国際空港(セントレア)から津エアーポートラインで津なぎさまちへ40分
  1. 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
  2. 津なぎさまちからタクシーで三重大学まで約15分

# 三重大学

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577  
TEL 059-232-1211(代)  
<http://www.mie-u.ac.jp/>

